

第 48 回テーマ

コストカットのメリット・デメリットとは？

毎日のように政治関連のニュースがメディアを踊っている。いかに混迷しているか？という証明のように思うが、半ば政治に対するあきらめムードすら感じるようになった。みんなが「何とかしなくては」という危機感をさらに強く持ってきているように思う。

一方、新聞を見ると、面白い現象が起きているようだ。以前のような暗いニュース一辺倒ではなく、今回の決算で空前の利益をあげている企業が少なからずも存在している。金融関係や製造業、サービス業と特定業種のみが利益を挙げているという事ではなく、幅は広い。反面、大幅な減益となっている企業も散見される。経済でも、二極化は進み、そして大企業・中小企業や業種・業態に関係なく格差は確実に広がっているように思う。

共通点は何か...基本は固定費削減、人件費の大幅カットに尽きるだろう。売上高は当然ながら成長スピードが鈍化しているが、皮肉にも、派遣法改正や雇用問題が社会問題化しているが、企業はそのメリットを大きく享受していると思う。また、広告宣伝費や販促費の大幅カットも見逃せない所だ。内需が縮小傾向にある今、投資配分としては、削減傾向にあるのは否めない。その影響もありテレビや新聞などの大手メディアの収益性は落ち込んでいる。

恐らく、このような企業運営...つまり「損益分岐点売上を意識した経営戦略」を多く採用するに違いない。売上の上昇は見込めないので、徹底した合理化策と固定費削減、経費削減はさらに進むと思われる。

それはそれで正しいと思うが、その事で、企業の「ぜい肉」だけでなく「筋肉」までそぎ落としてしまうのは愚の滑稽だ。単純に人件費の削減といってコストが下がるというメリットだけでない。デメリットも生じる。人がいなくなる事で残った人員の作業量は膨らむ。当然、モチベーションも低下する可能性もあるだろう。もちろん、新たな展開を模索するだけのエネルギーも落ちると思う。

常にバランスを必要だが、どちらに転んでもあと1年程度は正念場だと思う。大きな変革のチャンスと捉え、チャレンジする気持ちだけは切らしてはいけない。